

筋ジスの自立生活とは？

～筋ジス病棟から自立生活へ～

2019年 6月 1日(土) 11:00～16:00

(受付:10:30～11:00)



第1部

11:00～12:00

病者障害者の戦後

講師:立岩真也氏(立命館大学先端総合学術研究科教授)



第2部

13:00～14:00

地域で暮らし始めた筋ジス

講師:渡辺一史氏(こんな夜更けにバナナかよ 作者)



第3部

14:30～16:00

地域で障害者が生きること

講師:立岩真也氏、渡辺一史氏、メインストリーム協会



会場等ご案内 (原則参加申し込み制)

会場: 西宮商工会議所 2階 大会議室
住所: 兵庫県 西宮市 櫛塚町2-20 (右記)
情報保障: 要約筆記あり
締め切り: 2019年5月24日 (金)

交流会も! 17時～

会場: メインストリーム協会



お申込み・お問い合わせ **メインストリーム協会** (兵庫県 西宮市 西福町9-3)

TEL 0798-66-5122

メール info@jpn.cilmsa.com

企画趣旨

私たちは、「メインストリーム協会」・「日本自立生活センター」・「立命館大学生存学研究センター立岩班」の有志によるグループです。

私たちは、「旧国立療養所解放プロジェクト」というプロジェクトを実施し、現在日本国内に存在する筋ジストロフィー患者を収容する病棟を持つ27の病院で、可能な限り、地域移行が進むように活動を行っております。

つきましては、1970年代から現在までの「旧国立療養所」現在の独立行政法人病院機構の成り立ちと経緯、その中でも病院を退院し、地域で暮らす筋ジストロフィー患者の方たちがいることを広く市民の皆様にも知ってもらうべく、このような催しを開催することになりました。

● 渡辺一史氏プロフィール

1968年生まれ。中学・高校・浪人時代を大阪府豊中市で過ごし、1987年、北海道大学理Ⅱ系入学と同時に札幌市に移り住む。1991年、北大文学部行動科学科を中退後、北海道を拠点に活動するフリーライターに。2003年刊の『こんな夜更けにバナナかよ』で大宅壮一ノンフィクション賞、講談社ノンフィクション賞、2011年刊の『北の無人駅から』でサントリー学芸賞、地方出版文化功労賞などを受賞。最新刊は『なぜ人と人は支えあうのか』（ちくまプリマー新書）。現在は、札幌市在住。

● 立岩真也氏プロフィール

1960年生まれ。東京大学大学院社会学研究科博士課程修了。現在は、立命館大学大学院先端総合学術研究科教授。専攻：社会学。

著書：『私的所有論』（勁草書房、1997年）、『弱くある自由へー自己決定・介護・生死の技術』（青土社、2000年）、『不如意の身体ー病障害とある社会ー』（青土社、2018年）、『病者障害者の戦後ー生政治史点描ー』（青土社、2018年）等。